【方針３】　生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

〔施策の柱１〕　人生 100 年時代を豊かに生きる学びの推進

本年度も、人生 100 年時代を豊かに過ごすために、生涯を通した学びの場、市民が主体的に行動する学びの場を整備していきます。

近年、少子高齢化や人口減少等により社会の構造変化が起きる中、地域社会の課題も多様化していることから、市民が地域に関心を持つきっかけとなる機会の創出を目指して、地域に関する学習や地域の人材を活用した講座を行っていきます。

そのほか、青少年の体験活動の機会が、新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行により次第に以前のような状態に戻りつつあるため、これまで以上に体験事業等を企画・実施するとともに、青少年育成団体の活動を支援することで、体験や交流の場を確保していきます。

生涯を通した学びの場の充実を実現する取組として、趣味を通じた新しい仲間との出会いや、教養を深める場所を提供することなどを目的に、様々な実施主体による多様な分野のまちづくりセンター講座を実施するとともに、豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶ機会を提供するため、富士市民大学を開催します。

また、家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員等の地域人材のネットワーク化を進める取組を継続するとともに、放課後における子どもの居場所づくりと体験学習の機会提供等を目的に「放課後子ども教室×少年教育講座[30]」を実施します。

「放課後子ども教室×少年教育講座」は、小学生児童を対象に、各地区まちづくりセンター等を主会場にして、放課後の安全な居場所づくりを行うとともに、多様な体験活動を実施します。学校や地域等と連携しつつ、「STEAM 教育[31]」などの時代のニーズに合った講座内容を一部に盛り込み、子どもたちが安心して楽しく学ぶことができる場の提供を行います。

また、地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動[32]の在り方について検討を進めてまいります。

青少年体験交流事業については、引き続き「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市を中心に実施してまいります。

「無限∞のキズナ」では、「キズナ学習」、「地域交流プログラム」、「体験プログラム」を関連付けて実施し、次世代リーダーの育成を図っていきます。「キズナ学習」は本事業の核となるプログラムであり、受講生たちは「最高のチームを作ろう」を目標に班の仲間同士で様々な題材やグループ学習を通じて意見をぶつけ合い、チームとしての結論を導き出します。「地域交流プログラム」では、地域の方との交流を通し、地元への愛着と地域を盛り上げようとする熱い想いに触れます。「体験プログラム」ではカヌー体験やハイキングなどの自然体験活動を通して自然の雄大さに触れつつ、チームの一員としての自分の考え方や行動について学びます。

本事業に参加することで、交友関係の輪を広げる、地域の大人と交流を広げ、コミュニケーション力・課題解決能力を身につけるとともに、自己肯定感を高めることで前向きに生きる青少年を育成することを目指していきます。

そのほか、20 歳を迎える市民を対象に、「富士市はたちの記念式典」を人生の節目を祝う機会として引き続き実施し、18 歳の新成人に対しては、祝意メッセージとともに富士のほうじ茶一煎パックを送り、成人の門出を祝います。

---

[30] 放課後の子どもの居場所づくりと体験学習を目的として、小学生を対象にまちづくりセンター等を会場に実施する講座

[31] 科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の５つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念

[32] 地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

また、青少年の健全育成に向け、非行防止のための補導活動を行うなど、青少年を取り巻く環境をよりよいものにしていきます。

各施策の重点事業（☆新規事業）
【施策①】生涯を通した学びの場の充実
・各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象に多様な分野の講座を開催する。 ・自ら学んだことを還元する意欲のある市民を応援し、民間団体の活性化を図るとともに、市民のニーズに応える魅力的な講座を提供するため、市民や民間団体が主体となって開催する「市民プロデュース講座[33]」や「オープン自主グループ講座[34]」、「みんカル講座[35]」を実施する。 ・豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、各専門分野に精通している教授や著名な講師等を招き、富士市民大学[36]を開催する。
【指標に関する取組】 **新しい趣味や仲間づくりを目的としたまちづくりセンター講座の実施** **【指標】講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】93.8%/100%/100%**
【施策②】地域ぐるみの社会教育の推進
・まちづくりセンター講座等において、地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的とした「人づくり講座」を継続して実施する。 ☆地域の未来を担う人材育成のため、小学生等を対象に少年教育講座を継続するとともに、放課後における子どもの居場所づくりと体験学習の機会提供等を目的に「放課後子ども教室×少年教育講座」を実施する。 ・家庭の教育力向上を目指し、家庭教育支援員[37]など、地域で活躍する人材のネットワーク化を進めるため、家庭教育支援員等への学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行う。 ・小中学校入学前の保護者を対象とした子育て講演会を継続して実施するとともに、未就園児とその保護者を対象とした家庭教育講座を実施する。 ・地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動の在り方についての検討を行う。
【指標に関する取組】 **人づくり講座の実施** **【指標】講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】90.8%/100%/100%**

[33] 市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座。市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。
[34] 同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座。
[35] 趣味教養・仲間づくりを目的とする講座のうち、市内で活動している民間団体が企画・運営する講座。民間団体が得意とする分野の講座を、まちづくりセンターで展開し、地域に根付いた魅力的な講座を目指す。
[36] 前期ミニカレッジは各専門分野の教授や有識者等と連携して開催、後期講演会は各分野で活躍する著名な講師による講演会を開催している。
[37] 静岡県家庭教育支援員養成研修で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ人。行政や学校と協力して、保護者会、懇談会、家庭教育講座等の保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う会等の進行や、情報提供を行うなど、保護者の学びの支援を行う。

【施策③】新たな時代を生き抜く次世代の育成
・青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市などを舞台に実施し、次世代リーダーの育成等を行う。 ・岩手県雫石町との少年交流事業を雫石町で実施し、地元の特色を学習しながら相互交流と集団生活を通じて、他人への思いやりの心を養う。 ・青年の主体的な社会参加を促すため、青年教養講座を実施するとともに、受講生同士の交流の場を企画し、仲間づくりと社会貢献活動に参加するきっかけを提供する。 ・青少年の非行防止のため、声掛けをはじめとする補導活動や環境浄化活動を推進する。
【指標に関する取組】 **青少年体験交流事業の実施** **【指標】青少年体験交流事業参加者の満足度** **【R5 実績/R6 目標/R8 目標】94.8%/100%/100%**
その他の事業
・市政いきいき講座
・青少年育成団体への活動支援
・「富士市はたちの記念式典」の実施

青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」

〔施策の柱２〕　市民の学びの場である図書館の充実

図書館は図書やその他の資料を収集、整理、保存して利用者に提供することを基本的な目的としてきましたが、近年多様化する市民の要望に応えるため、図書館サービスのさらなる充実が求められています。

富士市立図書館ではそれらの要望を受け、様々なサービスを提供してきました。令和６年度は少子化対策と併せた子どもの読書活動推進のための新たな事業をはじめ、10 月に予定している図書館資料管理システム[38]の更新により、図書館利用者の利便性の向上させ、より一層の充実を図ります。

乳幼児とその保護者の利用を促進するため、中央図書館で託児サービスを開始します。また、出産を待つ保護者に読み聞かせを紹介する講座を開催します。引き続き「第三次富士市子ども読書活動推進計画[39]」に基づいた読書環境の整備、読書機会の提供、読書活動の啓発・普及に取り組みます。

あらゆる年代の利用者の生涯学習を支援するため、幅広い分野で資料を収集するとともに、講座や講演会などで学習の機会を提供し、レファレンスサービス[40]で課題解決のサポートに努めます。

本と人、地域をつなぐ人材を育成するため、様々なボランティア講座を開催し、活動の場と発表の機会を提供します。

各施策の重点事業（☆新規事業）
【施策①】生涯にわたる読書習慣の推進
☆「プレママ・プレパパ読み聞かせ講座」を開催し、出産を待つ保護者に読み聞かせについて紹介し、乳幼児からの読書活動を支援する。 ☆毎週水曜日中央図書館において利用者託児サービスを開始し、乳幼児のいる家庭の図書館利用の促進を図る。 ・図書館の蔵書構成や社会的な要請を考慮しながら資料を選書、収集し、利用者の生涯学習のため提供する。 ・図書館への来館が困難な利用者のため、移動図書館での巡回や各施設へ配本サービスを行い、また電子図書館サービスでは GIGA タブレット用の ID の配布を継続するとともに、これらの事業の一層の周知を図る。
【指標に関する取組】 **市民の読書活動の推進** **【指標】一人当たりの図書貸出数** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】6.9 点/7.2 点/8.2 点**

[38] 図書館の運営を効率化し、利用者サービスを向上させるためのコンピュータシステム。主に閲覧管理や資料管理、といった機能がある。

[39] 子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものという考えから、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、そのための環境整備を推進するための計画。

[40] 図書館の資料を使い、調べ学習や調べ物のサポートをするサービスのこと。

【施策②】本・人・地域をつなぐ人材育成
・資料や情報、活動場所の提供により、読書関係団体を支援する。 ・ボランティアのための講座を開催し、ボランティアの技術向上や人材の育成を図るとともに、その活動について周知を図り、ボランティアへの参加を促す。
【指標に関する取組】 **ボランティア養成講座の開催** **【指標】ボランティア養成講座の参加者数（累計）** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】741 人/1090 人/1500 人**
・ウェブサイトや各種 SNS、市広報、報道機関を活用した図書館の情報（資料案内、イベント案内、活動紹介等）の発信
・文学講演会、ビジネス支援講演会、各種講座、おはなし会、ビブリオバトル等の読書活動推進イベントの開催
・「ブックスタートふじ」、「セカンドブックふじ」事業の実施
・「富士市図書館協議会」「富士市子ども読書活動推進協議会」の開催
☆図書館資料管理システムの更新とそれに伴う新サービスの開始

ビブリオバトル

読み聞かせ勉強会

〔施策の柱３〕　こころ豊かな市民文化の創造

文化財については、将来にわたり地域社会全体で文化財を適切に保存し、活用していくため、「富士市文化財保存活用地域計画[41]」を基本として周知・啓発を図り、その理念を地域住民と共有し、文化財に対する意識の醸成を図っていきます。

また、史跡保存整備推進委員会を開催し、学識者・市民の意見を伺いながら国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画の策定を進めていくとともに、浅間古墳に関連した文化財シンポジウムの開催や須津古墳群出土遺物等の出張展示を行います。なお、市指定史跡「千人塚古墳」については、保存整備工事と石室内発掘調査を行っていきます。あわせて、国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」の移築復原に向けた実施設計を行います。

その他、市指定天然記念物等の生育状況の確認と今後の維持管理方法検討の基礎資料として、樹勢調査を実施します。さらに国重要文化財「古谿荘」については、引き続き国・県とともに建物修理に係る助成を行います。

博物館業務については、本市及び本市近隣市町の歴史・文化に係る調査研究を行い、企画展や展示会、体験講座等を開催するほか、小中学校等への見学対応や資料の貸出、まちづくりセンターや地域包括支援センター等への出前講座を開催します。

また、本市の歴史と文化を楽しみながら学び、併せて若い世代の出会いの場を創出するため、竪穴式復元住居の茅葺き屋根修繕共同作業を行います。

市民歴史講座

茅葺き屋根の葺き替え見学会

[41] 市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関するマスタープランであり、アクション・プランである。文化財の保存・活用に関して当該市町村が目指す将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定め、これに従って計画的に取組を進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることから、計画を広く周知し、地域住民の理解・協力を得ることにより、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用を図ることが可能となる。

各施策の重点事業（☆新規事業）
【施策①】芸術文化の振興
（市民部文化スポーツ課による執行事業。）
【施策②】文化財の保存と活用
☆市指定史跡「千人塚古墳」整備工事及び石室内発掘調査を行う。 ☆国指定史跡「浅間古墳」に関連した文化財シンポジウムの開催と須津古墳群出土遺物等の出張展示を行う。 ☆国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」移築復原事業の実施設計を行う。 ☆天然記念物等の維持管理用の基礎データをまとめるための樹勢調査を行う。 ・富士市文化財保存活用地域計画の周知・啓発を行う。 ・国指定史跡「浅間古墳」の保存活用計画を策定する。 ・国重要文化財「古谿荘」修復に係る助成等を行う。 ・市民歴史講座等、歴史・文化に関する普及啓発を行う。
【指標に関する取組】 **文化財に関する講座、イベント等による文化財の保存・活用の促進** **【指標】文化財普及活動に参加した人数** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】183 人/480 人/700 人**
【施策③】学びの場である博物館の充実
☆第 61 回企画展「将軍綱吉の時代と富士」を開催する。 ☆竪穴式復元住居の茅葺き屋根修繕共同作業を開催する。 ☆ふるさと村歴史ゾーンにおける樹木の剪定を適切に行う（本館前、杉浦医院周辺）。 ・文化財建造物等の保守管理を行う。 ・各種体験講座及び出前講座を開催する。 ・ウェブサイトの充実・博物館収蔵品データベースの整備を行う。
【指標に関する取組】 **小中学校や高齢者団体による博物館資料を活用した学習支援事業の利用促進** **【指標】博物館資料を活用した学習支援の件数** **【R5 実績/ R6 目標/R8 目標】60 件/70 件/165 件**
その他の事業
・博物館収蔵資料の調査整理作業（六所家旧蔵資料、山﨑家文書ほか）
・富士山及び富士山南麓かぐや姫伝説に係る資料の調査収集